



Slow Food®

G7の農業関係者へ、スローフードからのメッセージ

すべての人の GOOD, CLEAN AND FAIR な食べものへのアクセスを確保するための10のポイント

スローフードは、最も重要な国際イベントである「テッラ・マードレ」(イタリア・トリノにて9月26日から30日まで開催)を数週間後に控え、同期間にシチリア州シラクサで会合が行われる G7 の農業関係者に向けて、「Good, Clean and Fair な食べもの」に関するメッセージを発信します。複数の関連する世界的な危機を克服し、国連が設定した2030年の持続可能な開発目標に向けて確実に前進するために、「食べものの価値」「生物多様性」「自然やエコシステムへの敬意」に焦点を当てるよう求めます。



1. 生物多様性と自然に優しい農業(アグロエコロジー)を

過去70年間で、私たちは世界で栽培されている植物の約75%を失いました。これは、生態系を守るために不可欠な「アグロバイオダイバーシティ」(農業における生物の多様性)が減っているということで、文化的、環境的、経済的にも重要な財産が損なわれていることとなります。

自然に優しい農業(アグロエコロジー)を行い、次の世代にしっかりと農業を引き継ぐ企業を支援するための補助金を含めた政策を求めます。土壌や生物多様性を保全・再生し、水資源を節約し、自然環境や農村の風景を大切にしたい農業を行う必要があるからです。

2. 動物と土地を大切にする畜産業を

工業的な畜産業は、動物の飼育を農地から切り離し、大豆やトウモロコシの集中的な栽培への依存を進めました。その結果、現在の畜産業は、自然環境や、私たちそして動物の健康・福祉に大きな悪影響を与える産業となっています。

動物を大切にし、脆弱な生態系を守り、限界地域での生物多様性や土壌の肥沃度を保護しながら畜産を行う人々を支援するための補助金を含めた政策を求めます。



3. すべての学校で「食育」を

食育への投資が急務です。食べものの価値や、食べものがどのように生産・加工・流通されるか、そしてそれに関連する社会的、文化的、経済的、環境的な背景を次世代に伝え、彼らが賢く選択できるようにする必要があります。また、学校の給食を通じて食べものの価値を再認識させることが大切です。給食は教育の場であるべきです。

すべての学校で食育が義務化され、地元産の新鮮で高品質な食材を使った給食サービスが提供され、食品ロスが減らされることを求めます。



4. 健康的で持続可能な食を

今私たちが生きている社会は、健康で持続可能な選択がしにくい状況にあります。人々の生物学的、心理的、社会的、経済的な弱点を利用して、栄養価の低い食べものがすすめられ、不健康で持続不可能な食生活が広まっています。

すべての人が、健康的でサステナブルな食べものや飲みものにアクセスできるようにし、それを強力に押し進める必要があります。

消費者に透明で完全な情報を保証し、公共の食品調達において最低限の持続可能性基準を定め、直売や生産者市場を支援するなど、食品チェーンをダイナミックに再構築する政策を求めます。



5. 農家に公正な価格を

安価な価格政策は、健康や環境汚染、労働搾取、人権侵害など、非常に大きな社会的・環境的コストを隠しています。

土壌や消費者の健康を尊重しながら食品を生産する農家に対して、公正な価格を認めるために必要な政策の実施を求めます。



6. 真の食料主権のための研究にYES、 遺伝子組み換えとその特許にはNO

遺伝子組み換え作物(GMO)は、農業や経済、政治をグローバルに支配するシステムの一部であり、農家が自分たちの生産手段を失い、食料の管理がますます多国籍企業の手集中してしまう原因となっています。

すべての遺伝子組み換え作物を規制し、適切なリスク評価を行い、消費者に対して透明で追跡可能な情報を提供することを求めます。科学的研究と技術革新は進められるべきですが、それが主に公共の利益に向けられ、地域社会の真のニーズに応えるものであることを求めます。



7. 多様性と難民の受け入れを

食は、私たちのアイデンティティを示すものであり、異なる文化や社会の間での諍いを仲介し、コミュニケーションを深める最も簡単で有効なツールでもあります。世界中の伝統的な料理は、多くの文化が混ざり合ってきたものともいえます。

単なる商品ではなく、栄養や文化としての食を大切にするという観点から、私たちは、島々やを渡る移民を温かく迎え入れ、しっかりと社会に統合するための政策を実施することを求める。また、すべての人が自分たちの食を自ら決める権利(食料主権)を守る経済政策と、森林破壊や水資源の搾取、安価での農産物の輸出(ダンピング)など、西洋の食料システムのネガティブな部分が南半球の国々に影響を及ぼすことを避けるための商業政策が推進されることを求めます。





Slow Food®



8. 食品の無駄にNO

現在、世界で生産された食品の3分の1が無駄にされています。飲料水、エネルギー、肥沃な土壌が無駄遣いされているだけでなく、必要のない大気中の排出物を増やし、土壌や水中の肥料や農薬の無駄な散布を引き起こしています。8億人が飢餓に苦しみ、10億人以上が過体重や肥満に悩んでいる世界的な状況の中で、これは受け入れがたい事実です。

生産から加工、流通、販売、そして給食サービスから個人の家庭に至るまで、食料ロスを削減するための政策を求めています。



9. 小規模な漁業と沿岸の生態系の保護を

小規模な沿岸漁業は、生態系を尊重して管理されれば、持続可能な漁獲形態であり、生物多様性の保護と向上の重要な要素となりうる。また、計り知れない社会的・文化的遺産でもある。

私たちは、世代交代を可能にすることによっても、小規模沿岸漁業を支援することを求める。沿岸生態系の革新的な共同管理を推進し、漁業者、政策立案者、研究機関が一体となって、地域の実情に即した解決策を見出す必要があります。

私たちは、海を貧しくする大規模な船団や漁法を支援しないよう求めます。特に底引き網漁は、海洋保護区や産卵場では断固として禁止されなければならない。私たちは、魚類相の乱獲を助長し、海洋生態系を著しく危険にさらす養殖を支援しないよう要請する。



10. 使い捨てプラスチックにNO

毎日、何百万トンものプラスチックがゴミとして捨てられ、それが自然環境、海、さらには私たちの食べものまでもを(マイクロプラスチックの形で)汚染しています。企業が包装を最小限に抑えることを義務付け、「使い捨て」の使用を医療分野などにおける必要最低限の場合に限定し、それ以外では禁止する政策を求めます。また、現在のプラスチックのリサイクル率が10%未満であることを考慮し、あらゆる方法でリサイクルが促進されることも求めます。